ファイナンシャルニュースに 第 16 回「日本体験コンテスト in 大韓民国」 の様子が掲載されました!

第 16 回「日本体験コンテスト in 大韓民国」の様子が 2013 年 9 月 16 日(月)のファイナンシャルニュースに掲載されました!

2013 年 9 月 16 日(月) ファイナンシャルニュース (WEB 記事)



일본의 사설 장학재단인 교리츠(共立) 국제교류장학재단은 14일 서울 소공동 롯데호텔에서 '제 16회 일본체험 콘테스트 in 대한민국'를 개최하고 입상자 6명을 선발·발표했다.

이날 콘테스트에 입상한 학생들에게는 '꿈, 일본체험상'으로 각각 30 만엔씩이 지급됐다.

재단이 주최하는 일본 체험콘테스트는 지난 1998 년 국제교류사업의 일환으로 '일본어 커미니케이션 테스트 in 대힌민국'을 시작해 올해 16 년째를 맞았다. 지난 2007 년(10 회)부터는 '일본에서 실제로 체험하고 싶다'란 테마로 일본 연수기획서를 제출받아 입상한 학생에게는 기획실현을 위한 상금(체재비용 등)을 지급, 자신이 기획한 것을 체험 연수하도록 지원하고 있다.

하기야 준 재단 서울사무소장은 "재단은 1995 년부터 일본과 아시아 각국과의 친선우호에 기여할 수있는 인재양성을 목적으로 일본 유학생들에게 장학금 및 국제교류활동을 지원해 오고 있다"며 "또한 일본유학의 꿈을 가진 학생들을 응원하기위해 매년 일본체험 콘테스트를 개최하고 있다"고 설명했다.

dksong@fnnews.com 송동근 기자

日本共立国際交流奨学財団、'日本体験コンテスト開催'

日本の共立国際交流奨学財団は、14日、ソウル小公洞ロッテホテルで "第16回日本体験コンテストin大韓民国'を開催して入賞者6人を選抜·発表した。

この日、コンテストで入賞された学生には"夢、日本体験賞"として、一人当30万円ずつ支給された。

財団が主催する日本体験コンテストは、1998年国際交流事業の一環として"日本のコミュニケーションテストin大韓民国"の開催をはじめ、今年で16年目を迎えた。 2007年(10回)からは"日本で実際に体験したい"というテーマで日本研修企画書の提出を受け、入賞された学生には、企画を実現するための賞金(滞在費用など)を支給、自分が企画したことを体験研修できるよう支援している。

萩谷潤財団ソウル事務所長は"財団は、1995年から日本とアジア諸国との親善友好に貢献できる人材の育成を目的として、 日本の留学生に奨学金や国際交流活動を支援している"といい、"また、日本留学の夢を持っている学生を応援するため、 毎年、日本体験コンテストを開催している"と説明した。